



IV

社会とつながり、社外から学ぶ

【視点8】

Ⅳ 社会とつながり、社外から学ぶ

安全性の向上に向けた取り組みのなかで、自然災害への対応やホーム・踏切での共助等については、お客様をはじめとした社会の皆様のご理解とご協力を得る必要があります。また、鉄道業界に限らず、広く社外の安全の取り組みを学び、採り入れるとともに、新しい技術の動向に着目することも大切です。

私たちは、安全で安心してご利用いただける鉄道システムへの改善に向けた努力を積み重ねる一方、社会の皆様へ安全の取り組みを丁寧にご説明し、ご理解いただくことに努め、社会の皆様とともに安全性を高めていきます。特に、大規模な災害や輸送障害の発生時におけるお客様の避難誘導等に関する関係機関との連携を深めます。また、台風や大雨・大雪等やむなく計画運休を実施する場合には、早期に情報発信するなど、ご理解とご協力を得られるよう努めます。

さらには、社外の知見を採り入れ、安全性の向上に取り組んでいきます。

〔重点化項目〕

- ・ 鉄道施設内犯罪への対応等に関する警察・消防との訓練
- ・ 自治体等の関係機関との自然災害、輸送障害等の事象発生時の対応に関する対話の実施
- ・ お客様や社会の皆様の「共助」によりホームや踏切の安全性を高める取り組みの充実
- ・ 他鉄道事業者等から安全対策を学び、採り入れる取り組みの推進



警察との合同訓練



自治体や地域の皆様と連携した避難誘導訓練



踏切事故防止キャンペーン